

I 先行的神の恵み

1. 「私たちは信仰によって義（主の十字架の故に、神の前に無罪、過去・現在・未来のすべての罪の赦し、神の前に正しい者）と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいます」：1, 2

2. 「実にキリストは、私たちがまだ弱かったころ、定められた時に、不敬虔な者（神を敬わないで、神なんか必要ないと思っていた私達）たちのために死んでくださいました」：6

II 苦難が生み出すもの

この地上では、皆、人生の中で、苦難を経験する。キリストも聖書も、「主を信じたら、何の苦難もない」とは言われない。しかし、主を信じる者は、苦難の中でも、主の恵み、主ご自身、苦難の意味（神は、すべての苦難を支配し、意味を持っておられる）を知り、喜ぶ事ができる。「苦難さえも喜んでいます」：3。信仰生活で、大切な事は、人生の中で出会う試練や苦難に、どう「反応」するかである。不信仰、失望の「反応」か！苦難の中で、すべてを支配される神を信頼する「反応」か！

1. 「苦難が忍耐を生み出し」：3。人生の中で、私たちが出会う苦難は、無意味なものではない。最高の宝の徳「忍耐」を生み出してくれる。忍耐とは、「一定の状態を保って変わらない徳」、「辛抱強く持ちこたえる能力のこと」。さまざまな苦難を経験する事は、私達の中に、持ちこたえる力、辛抱強く進み続ける力を、生成し、生み出す。苦難が、やって来ると、私達は、改めて自分が、私達の主を必要としている事を、新たに自覚させられる。これがローマ8：28の「すべてを益とされる」の益の意味である。突如、問題に直面すると、不意を打たれ、何も理解できない。しかし、真の信仰があれば、苦難の故に、主の方に向き直される。試練や苦難のおかげで、日頃当然と思って、神に感謝していなかった事を悔い改めさせられ、何一つ当然、当たり前ものはないと気づかされ、神に、一つ一つを感謝し、また、神に、一步一步、辛抱強く頼り直す人生が始まる。苦難は、キリスト者をキリストのもとに連れ戻す。苦難が忍耐を生み出し、辛い事があると、すぐに主から離れる者ではなく、苦難の中で共におられる主に信頼し、人生をあきらめず、持ちこたえる者に変えられる。

2. 「忍耐が練られた品性を生み出し」：4。私達が、苦難、試練を通り、主に頼って忍耐する事を学ぶ時、練られた品性が生み出される。練られた品性とは、試練を通り、忍耐し、主に近づき、すぐにあきらめたり、人生を投げ出したりしない品性。苦難を通る事により、主にもっと近づき、忍耐、耐え忍ぶ力、イエス様に似た品性、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自製の品性が与えられる。

3. 「練られた品性が希望を生み出す」：4。苦難や試練を通して、神により練られた品性が与えられ、練られた品性は、どんな時も、失望せずに、すべてを支配し、すべてを益にして下さる神を信じ信頼するので、希望を失う事がない。練られた品性の信仰者とは、どんな苦難の中でも、神を信頼し、希望を持つ人。その希望は、思い込みではなく、神の恵みの事実を土台にした確実な希望＝神に愛され救われているという事実立つ希望、過去・現在・未来のすべての罪の赦しが主の十字架で完成しているという希望、苦難、試練があっても、内住の御聖霊により、主の品性に変えられ続ける（Ⅱコリント3：18）という確実な希望、辛い出来事、苦難、試練が、自分の身に起こっても、神がすべてを支配しておられ、神が、すべてを益にして下さる（ローマ8：28）という確実な約束の御言葉立つ希望、この地上で、いつも主が共におられ、支えて下さるとい希望、この地上の最後を迎え、肉体が死んでも、

魂は、主が共におられる天国に行くことが出来るという確実な希望、世の終わりには、主イエスが、再臨され、まず、主を信じ墓に葬られている人々が、栄光のからだによみがえる（罪のない心と栄光の体を持つ人によみがえる）という確実な希望、次に、主の再臨の時に、この地上に生かされている信仰者は、罪のない心と栄光の体に変えられるという確実な希望。「終わりのラッパ（主の再臨の時）とともに、たちまち、一瞬のうちに変わります。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです」（Ⅰコリント15：52）。本日の召天者記念礼拝で、この恵みを感謝しましょう！

Ⅲ 神の私達への励ましと私達の応答

1. 神の愛「この希望は失望（神は、決して私達を裏切られない）に終わることがありません。なぜなら、私達に与えられた聖霊によって、神の愛が私達の心に注がれているからです」：5。御聖霊が、私達に対する神の愛について、満ちあふれるほど豊かな確信を与えて下さる。御聖霊は、神が私達を、私たちの主イエス・キリストにあって愛しておられることを、満ちあふれるほど確かにし、保証して下さい。※証し：ますます御聖霊が教えてくださる恵み＝神は、私が思っている、実感している何倍もの愛で私達を愛しておられる！「愛は神から出ているのです。…神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって、私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私達を愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。…神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。…私たちは自分たちに対する神の愛を知り、また信じています。」Ⅰヨハネ4：7-16。

①神が先に罪人の私達を愛して下さい。今も、永遠に愛して下さい。②愛の大きさは、相手が、どんな状態の時に愛されたかで分かる。私達が、「神様、私は主イエスを信じます」と祈った時ではなく、「私たちがまだ罪人（私達が神を信じようとしないで多くの罪にまみれていた）であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私達に対するご自身の愛を明らかにしておられます」ローマ5：8。③私達人間は、相手（親、夫、妻、子ども、知人、友人）が、自分の望み、要求、期待に答えてくれた時に、相手を受容する条件付きの愛を持っている。相手が、自分の期待に反した時、態度が変わる事がある。※世界的な大きなスポーツの大会で、期待に反してミスをした場合、帰国した空港で、罵声を浴びたり（以前は、熱狂的に応援してくれた人々から）、ある時は殺人まで起きる。ある有名なスポーツ選手は、大会の度に新記録を出した。その人は言った。「また、次の大会で、応援され新記録を期待される事が辛かったです」と。私自身、反省させられた。応援、期待が、ある時は、励ましになるが、ある場合には、想像できないほどの重圧を与える事もあるのだと。

④神の愛は、私達人間の愛と大きく違う。神は、私達が、大きなミス、失敗を犯しても変わらない愛で、私達自身の存在そのものを愛して下さい。期待されているようなことが出来なかった日も、出来高、業績、成績に左右されず、愛して下さい。罪を犯し、罪を正直に告白する時、赦しときよめを下さる。

2. 神に愛されている私達の感謝から生まれるもの

「神がこれほどまでに私達を愛して下さった（今も愛されており、永遠に愛して下さい）のなら、私達もまた、互いに愛し合うべきです」Ⅰヨハネ4：11。まず、罪人の私達を愛された神の愛の力と心に内住されている御聖霊の力によって互いに愛し合うことが出来ますように！相手に、負担感、プレッシャーを与えないで、愛せますように！まず相手を受け入れることが出来ますように。